



平成27年11月13日

各 位

会 社 名 児玉化学工業株式会社
代表者名 代表取締役社長 豊島 哲郎
(コード：4222、東証第2部)
問合せ先 取締役管理本部長 斉木 均
(TEL: 03-3279-4900)

中期経営計画の策定について

当社は、この度、平成28年度（第90期）から平成32年度（第94期）までの5カ年を実施時期とする「中期経営計画」を策定しましたのでお知らせ致します。

1. 中期経営計画策定の背景

当社では、平成25年～平成27年度の中期経営計画に従い海外事業の拡大、生産体制の最適化、生産技術革新による収益力の強化、及び事業部制導入による損益責任の明確化等の施策による事業構造改革を推進してまいりました。その結果、アジア地域での事業基盤を拡大充実することで売上高目標はやや下回るものの海外売上高比率50%超の目標を達成いたしました。収益力の強化は道半ばとなっております。この結果を受け次の内容の次期中期経営計画を策定いたしました。

2. 業績目標

	平成32年度（第94期）
連 結 売 上 高	315億円
営 業 利 益	15億円

3. 基本戦略

当社グループを取り巻くアジアでの厳しい市場環境の下、時代のニーズに速やかに応えるための機敏な対応とグローバルな視点で、当初の3カ年をPhase1「収益拡大による財務基盤の強化を行う収穫期と次なる成長への種まき時期」、後半2カ年をPhase2「次なる成長の展開時期」とし、以下の重点方針と施策に基づき上記業績目標を達成してまいります。

4. 事業展開の方針と重点施策

①ASEAN 地域での収益拡大と財務基盤強化

- ・ Echo Autoparts (Thailand)社 及び Echo Advanced Technology Indonesia 社にて本格的量産を開始する自動車各社戦略車種の部品事業における高稼働安定生産による収益の確保。
- ・ Thai Kodama 社・Thai Kodama Vietnam 社の冷機成形品事業の拡大展開及びインドネシア冷機成形品事業の立ち上げ。
- ・ Thai Kodama 社の食品容器事業の拡大。

②ものづくり構造改革による収益力強化：

- ・ 成形、組立、塗装各工程の自動化と省人化、材料技術の活用による新材料の展開とリサイクル率向上、検査自動化、品質管理体制再構築による不良低減、直行率向上等のものづくりの仕組みの再構築による労働生産性の向上と収益力強化。
- ・ 当社の強みである真空成形／プレス成形を生かしたガラス繊維マットプレス工法による自動車部品金属代替への展開、三次元加飾工法による高度加飾分野への展開に代表される高付加価値な製品体系への変革による収益力の向上。
- ・ 日本、中国の生産拠点を連携させた住宅設備事業の強化と新規製品の展開。

③ダイバーシティ推進及びグローバル人材育成とグローバル運営体制

- ・ 児玉化学グループのグローバル運営を支え得る次世代人材の育成として、女性・多国籍人材の活用
- ・ 海外現地法人の運営、管理体制の強化、それを支えるローカル人材の育成・幹部登用を含むグローバル事業に対応した管理者層の育成。

以 上